

お客様各位

FOM 出版(株式会社富士通ラーニングメディア)



「IT パスポート試験 令和 7 年度分」の出題傾向分析について

日頃は、FOM 出版をご愛顧いただきまして、誠にありがとうございます。
情報処理推進機構(以下、IPA)より 4 月 20 日(日)に公開された「IT パスポート試験 令和 7 年度分」の出題傾向を分析しましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

【留意事項】

IPA より公開されるのは、CBT 試験に出題されている問題から 100 問を抜粋したものです。この問題は、ペーパー方式で実施される春期の情報処理試験に合わせて、年 1 回公開されることになっています。なお、CBT 試験では、受験者ごとに様々な問題がランダムに出題され、同日同会場を受験しても、同じ問題が出題されるわけではありません。なお、問題の分析は当社独自の判断によるものです。ご了承のうえ、本資料をご利用ください。

記

1. 出題傾向 ～「技術要素」「経営戦略」「企業と法務」の比重が高い～

令和 7 年度分として公開された問題の「カテゴリ別」「問題形式別」の出題傾向は、次のとおりです。
※参考までに直近 2 回分(令和 5 年度分、令和 6 年度分)の数値も記載しています。

●カテゴリ別

カテゴリ	大分類	R5 出題数	R6 出題数	R7 出題数
ストラテジ系	企業と法務	19 問	17 問	13 問
	経営戦略	10 問	12 問	14 問
	システム戦略	6 問	6 問	8 問
	小計	35 問	35 問	35 問
マネジメント系	開発技術	5 問	6 問	4 問
	プロジェクトマネジメント	5 問	4 問	5 問
	サービスマネジメント	10 問	10 問	11 問
	小計	20 問	20 問	20 問
テクノロジー系	基礎理論	8 問	7 問	7 問
	コンピュータシステム	8 問	9 問	8 問
	技術要素	29 問	29 問	30 問
	小計	45 問	45 問	45 問
合計		100 問	100 問	100 問

●問題形式別

問題形式	R5 出題数	R6 出題数	R7 出題数
用語(用語の説明や関連する用語を選択する問題)	53 問 (53%)	55 問 (55%)	52 問 (52%)
事例(具体的な事例に基づいて解答する問題)	34 問 (34%)	33 問 (33%)	35 問 (35%)
計算(数値や計算式を求める問題)	9 問 (9%)	9 問 (9%)	9 問 (9%)
表計算(表計算ソフトの利用が問われる問題)	1 問 (1%)	0 問 (0%)	1 問 (1%)
データベース(データベース設計の知識が問われる問題)	3 問 (3%)	3 問 (3%)	3 問 (3%)
合計	100 問 (100%)	100 問 (100%)	100 問 (100%)

2. 公開問題分析 ～セキュリティの出題数が全体の約 2 割も占める～

難易度は、前回と同様のレベルでした。今回の試験問題の特徴は、次のとおりです。

●セキュリティからの出題が約 2 割も占める

今回も「技術要素」の中分類「9-5 セキュリティ」からの出題が 18 問と多かったです。なお、前回の令和 6 年度分では 18 問、前々回の令和 5 年度分では 19 問であり、今回も継続して 2 割程度出題されています。

主な出題内容は、次のとおりです。

<セキュリティの脅威に関する内容>

ゼロデイ攻撃、DDoS 攻撃、ブルートフォース攻撃、可用性が損なわれた事象、脅威、など

<セキュリティ対策や技術に関する内容>

ランサムウェア感染時の損害を軽減する対策、IDS(侵入検知システム)、
無線 LAN のセキュリティ対策(WAP2)、物理的セキュリティ対策(入退室管理)、
バイオメトリクス認証(生体認証)の本人拒否率と他人受入率、リスク対応(移転・回避・低減・保有)、
デジタルフォレンジックス、利用者認証(所有物を要素とした認証)、情報セキュリティ方針、
CSIRT の活動、CRL(証明書失効リスト)、など

今回もセキュリティに関する幅広い知識が要求されました。今後も同様に高い比重で出題されることが予測されるため、試験対策として用語の意味をしっかりと理解しておく必要があります。

●擬似言語の問題が 2 問あり

学校教育でプログラミング教育が段階的に実施されている状況などを踏まえ、プログラミング的思考力として擬似言語の問題が引き続き出題されました。なお、擬似言語の問題は、シラバス Ver.6.0 の適用が開始された

令和 4 年度から出題され続けています。なお、令和 4 年度からコンスタントに 2 問出題されています。

今回も擬似言語に関する出題が 2 問ありました。出題内容としては、問題文で与えられたプログラム仕様を正しく理解し、擬似言語で記述されたプログラムの処理手順を追いつながら解答を求める(=プログラミング的思考能力が必要となる)ものでした。擬似言語で記述されたプログラムの内容を、正確に読み解けること(変数の値の変化を正確に追っていけることなど)がポイントとなる問題でした。問題を解くのに時間を要することや、アルゴリズムの基本構造の理解を前提とし、問題文で与えられたプログラム仕様からプログラム中に入るコードを求めたり、プログラムを最後まで実行した処理結果を求めたりと、難易度は高いといえます。今回は 2 問ともに、プログラムを最後まで実行した処理結果(=手続きや関数の戻り値)を求める問題でした。

IPA から「擬似言語の記述形式」に関する資料が公開されています。擬似言語の記述形式(※1)についてはあらかじめ参照し、理解しておく必要があります。

※1:「試験で使用する情報技術に関する用語・プログラム言語など」Ver.5.1

https://www.ipa.go.jp/shiken/syllabus/doe3um0000002djj-att/shiken_yougo_ver5_1.pdf

→この中に記載されている「別紙 1 擬似言語の記述形式(IT パスポート試験用)」を参照

●企業と法務からの出題が 13 問あり

今回も「企業と法務」からの出題が 13 問(前回は 17 問)と多かったです。「MVV(ミッション、ビジョン、バリュー)」「カンパニー制組織」「著作権(ソフトウェア)」「商標法」「不正アクセス禁止法」「特定電子メール法」「請負契約」「コーポレートガバナンス」など、用語の概要を問う問題が幅広く出題されています。また、「売掛金の算出」や「ある利益以上になる販売個数の算出」といった計算問題も出題されています。

●経営戦略からの出題が 14 問あり

今回は「経営戦略」からの出題が 14 問(前回は 12 問)と多かったです。「VRIO 分析」「ERP システム」「ポジショニング」「PoC」「ハッカソン」「ハルシネーション」「フリーミアム」「生成 AI」「自動運転のレベル 3」など、用語の概要を問う問題が幅広く出題されています。

●用語の問題が半分以上あり

問題形式で見ると、「用語」は 52 問、「事例」は 35 問、「計算」は 9 問となっています。前回と同じような傾向が続いており、「用語」が約 5 割の出題、「事例」は約 3 割の出題、「計算」は約 1 割の出題でした。なお、事例の問題を解答するには、単純な用語の暗記だけではなく、関連する周辺の知識まで理解しているかどうか鍵となります。ただし、試験としては、全体を通して引っ掛け問題や考え込むような複雑な問題はほとんどなく、比較的わかりやすい問題といえます。

●シラバスに記載されていない内容が出題される

毎回シラバスに記載されていない内容が出題されますが、今回も出題されました。「IP ランドスケープ」「プロセスマイニング」「変更管理委員会」「CPM(クリティカルパス法)」「PDM(プレジデンスダイアグラム法)」「フリーアクセスフロア」などの問題が該当します。

3. 試験の応募者数 ～初の 30 万人を突破～

●年間の応募者数 ※出典:「情報処理技術者試験 統計情報」独立行政法人情報処理推進機構

令和 6 年度の応募者数は、過去最高の 309,068 名でした。平成 21 年の試験開始後、初めて 30 万人を超えました。情報処理技術者試験には多くの試験区分がありますが、IT パスポート試験の応募者が最も多い状況です。

【ペーパー方式から CBT 方式へ移行した平成 24 年度以降】

年度	上期	下期	合計
平成 24 年度	30,878 名	38,105 名	68,983 名
平成 25 年度	32,869 名	41,522 名	74,391 名
平成 26 年度	33,896 名	44,824 名	78,720 名
平成 27 年度	35,696 名	45,253 名	80,949 名
平成 28 年度	37,513 名	48,792 名	86,305 名
平成 29 年度	40,554 名	53,744 名	94,298 名
平成 30 年度	45,221 名	61,951 名	107,172 名
令和元年度	52,924 名	64,999 名	117,923 名
令和 2 年度	52,312 名	94,659 名	146,971 名
令和 3 年度	91,193 名	153,061 名	244,254 名
令和 4 年度	95,441 名	157,718 名	253,159 名
令和 5 年度	123,087 名	174,777 名	297,864 名
令和 6 年度	131,462 名	177,606 名	309,068 名

●月別応募者数 ※出典:「情報処理技術者試験 統計情報」独立行政法人情報処理推進機構

月別応募者数は、上期よりも下期の方が多くなり、かつ年度末にかけて多くなる傾向があります。令和 6 年度の月別応募者数は、4 月から 3 月までの 12 か月のうち、4 月、6 月、8～12 月で同月別過去最高を更新しました。

令和 4 年度	応募者数
令和 4 年 4 月	5,897 名
令和 4 年 5 月	12,660 名
令和 4 年 6 月	16,466 名
令和 4 年 7 月	20,148 名
令和 4 年 8 月	19,205 名
令和 4 年 9 月	21,065 名
令和 4 年 10 月	20,119 名
令和 4 年 11 月	17,634 名
令和 4 年 12 月	23,165 名
令和 5 年 1 月	23,886 名
令和 5 年 2 月	31,073 名
令和 5 年 3 月	41,841 名
合計	253,159 名

令和 5 年度	応募者数
令和 5 年 4 月	18,933 名
令和 5 年 5 月	17,326 名
令和 5 年 6 月	18,531 名
令和 5 年 7 月	22,351 名
令和 5 年 8 月	21,112 名
令和 5 年 9 月	24,834 名
令和 5 年 10 月	21,766 名
令和 5 年 11 月	20,518 名
令和 5 年 12 月	25,839 名
令和 6 年 1 月	26,543 名
令和 6 年 2 月	32,421 名
令和 6 年 3 月	47,690 名
合計	297,864 名

令和 6 年度	応募者数
令和 6 年 4 月	19,894 名
令和 6 年 5 月	16,860 名
令和 6 年 6 月	22,115 名
令和 6 年 7 月	21,932 名
令和 6 年 8 月	23,003 名
令和 6 年 9 月	27,658 名
令和 6 年 10 月	23,098 名
令和 6 年 11 月	22,436 名
令和 6 年 12 月	28,441 名
令和 7 年 1 月	26,039 名
令和 7 年 2 月	31,981 名
令和 7 年 3 月	45,611 名
合計	309,068 名

4. FOM 出版書籍の網羅率 ～高い網羅率を達成～

●「令和 6-7 年度版 IT パスポート試験 対策テキスト&過去問題集」(型番:FPT2315)の網羅率 ～92%の網羅率を達成～

令和 7 年度分として公開された問題のうち、当書籍を学習していれば解答を導き出せる問題の比率を示した網羅率は、次のとおりです。

※参考までに直近 2 回分(令和 5 年度分、令和 6 年度分)の数値も記載しています。

書籍内の解説の有無	R5 網羅率	R6 網羅率	R7 網羅率
書籍で解説している問題 (一般的な知識で解答可能なものを含む)	89 問 (89%)	88 問 (88%)	88 問 (88%)
書籍で解説しているが、補足が必要な問題	3 問 (3%)	5 問 (5%)	4 問 (4%)
書籍で解説していない問題	8 問 (8%)	7 問 (7%)	8 問 (8%)
合計	100 問 (100%)	100 問 (100%)	100 問 (100%)

●「令和 7-8 年度版 知識ゼロからめざす IT パスポート一発合格」(型番:FPT2407)の網羅率 ～82%の網羅率を達成～

令和 7 年度分として公開された問題のうち、当書籍を学習していれば解答を導き出せる問題の比率を示した網羅率は、次のとおりです。

※当書籍は令和 6 年 12 月に発売したため、今回が初めての分析になります。

書籍内の解説の有無	R5 網羅率	R6 網羅率	R7 網羅率
書籍で解説している問題 (一般的な知識で解答可能なものを含む)			78 問 (78%)
書籍で解説しているが、補足が必要な問題			4 問 (4%)
書籍で解説していない問題			18 問 (18%)
合計			100 問 (100%)

5. FOM 出版書籍のラインナップ ～目的別に万全のラインナップ～

弊社の「IT パスポート試験」教材のラインナップ(発売中)は、次のとおりです。

合格を目指す方の習熟度や利用シーンなどに応じてご用意しており、独学はもちろん、学校での授業の教科書としても利用できる構成です。

No.	教材名	型番 価格(税込)	説明
1	令和 6-7 年度版 IT パスポート試験 対策テキスト&過去問題集	FPT2315 2,420 円	試験主催元から提供されているシラバスに沿った目次構成で、シラバスに記載されている用語を詳細解説する「教科書」。出題範囲の体系的な学習に最適。シラバス「Ver.6.2」対応版。 本試験(CBT 試験)さながらに学習できる「過去問題プログラム」をダウンロードして利用できる。過去問題 800 問(8 回分)を収録。全問に詳細な解説付きで、自動採点機能、弱点補強機能、問題検索機能等あり。 ※添付: 自動採点付き過去問題プログラム、 別冊 予想問題 解答と解説 ※購入特典: 過去問題 800 問を Web で学習できる Web 試験付き(PC・スマホ・タブレット対応)、学習に役立つ電子書籍「DX ってなんだろう」
2	令和 7-8 年度版 知識ゼロからめざす IT パスポート一発合格	FPT2407 1,760 円	「時間をかけずに合格したい!」という方におすすめの教材。出題頻度の高い重要用語を厳選して解説しており、効率的に学習することができる。内容が理解できたら、学習項目ごとに用意した過去問題に挑戦するという 2 つのステップを繰り返すことで知識が深まり、合格に必要な力がしっかり身に付く。
3	IT パスポート試験 書いて覚える 学習ドリル	FPT2110 1,210 円	覚えておくべき用語について、解答を書き込みながら学習を進められる補助教材。重要用語を穴埋め形式で、解答を書き込んで覚えられる。 ※添付: 別冊 解答
4	IT パスポート試験 直前対策 1 週間完全プログラム	FPT2109 1,430 円	試験頻出の用語に絞って解説した、試験直前対策として最適な暗記用の用語集。携帯に便利なポケットサイズ。添付のカラーフィルムを重ねて、重要用語を効率よく覚えられる。 ※添付: カラーフィルム

※上記 No.1～4 は、電子書籍でもご提供しています。

※詳しくは、<https://www.fom.fujitsu.com/goods/itpass/index.html> をご覧ください。

